



令和4（2022）年3月16日

保護者の皆様

千早赤阪村立赤阪小学校

校長 當麻 裕彦

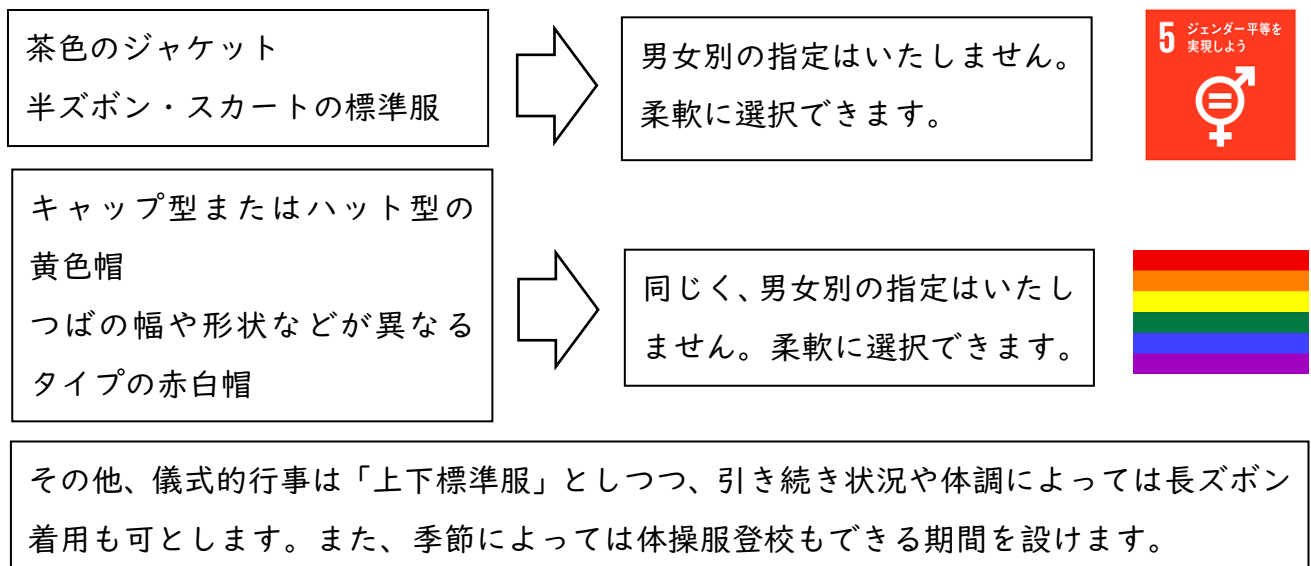
標準服等の選び方について

平素は本校教育活動にご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本校では長らく、現在の形の標準服が学校生活での服装として定着しておりますが、この間、社会全体の考え方も柔軟に、また多様化へとシフトしていることから、次のような点にも配慮していく必要があると考えております。

- ◇ユニバーサル対応トイレの増加や、書類の性別選択欄に男・女以外の項目も加わるなど性別についてグラデーションがあるという理解。ジェンダー平等の実現目標（SDGs）。
- ◇服装については、一般的な男女別デザインへの意識以外にも、肌を多く見せることへの抵抗感、服装そのものに関する文化や習慣の多様化、皮膚感覚による服の素材や長さ・厚さへのこだわりや抵抗感、機能性の優先度などで個々のとらえ方があること。
- ◇新型コロナウイルスの流行により、夏場は洗い替えがしやすいよう体操服登校も可能としたり、冬場は、換気による室温低下のため長ズボン着用も可としたりしていること。

上記の観点から、現在指定の標準服等について当面は、次のようなとらえ方で児童及び保護者の皆様と共有させていただきたいと考えております。ご理解のほどお願い申し上げます。



今の標準服に対しましては、保護者の方からもスクールアイデンティティ（その学校らしさ）の伝統の一つとして大切にされているお気持ちを伺っております。今後の標準服の在り方につきましては、児童や保護者、地域の方などの思いを把握しながら考えて参ります。